

# 岩手県職労

月2回刊=1537号  
2019年7月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジロー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

## 『吉田ただとも』議席奪還・護憲に向け決意

### 野党統一候補「横沢たかのり」激戦を制す

第25回参議院議員選挙に比例区・「吉田ただとも」が当選。社民党の議席を獲得した。選挙区「横沢たかのり」も激戦の末、見事初当選を果たした。参院選の勝利を8月盛岡市議選・県議選の勝利につなげよう。



▲「吉田ただとも」厳しい選挙戦、議席を奪還し喜びの万歳!



小西 和子(66歳)  
(推薦・社民公認・現3期)

〔盛岡選挙区〕

### 岩手県議会議員選挙推薦候補予定者



盛岡市議選県職労組織内候補予定者

## 野中靖志

### 「野中やすし」の勝利だ!

〔県議選〕

推せん候補の勝利へ支持の輪拡大を

私たちの声を地方政治に反映させよう



木村 幸弘(59歳)  
(推薦・社民公認・現3期)

〔花巻選挙区〕



千葉 進(65歳)  
(推薦・無所属・社民推薦・現1期)

〔二関選挙区〕



佐々木友美子(55歳)  
(推薦・無所属・社民推薦・新)

〔奥州選挙区〕



佐藤ケイ子(63歳)  
(自治労県本部組織内)  
(推薦・無所属・現1期)

〔北上選挙区〕



▲激戦を制し、野党各党代表らと喜びの万歳(前列中央が「横沢たかのり」さん)

差と貧困を解消し、労働者保護の確立と暮らしの再生に全力を挙げる。平和憲法を生かす政治の転換のため全力を挙げる」と決意表明した。

選挙区・野党統一候補「横沢たかのり」(新人)は、288,239票を獲得し、見事現職自民党候補を打ち破り、初当選を果たした。選挙区での闘いで野党統一候補は連続の勝利となり、平和憲法を守る礎を岩手で

も築くことができた。「横沢たかのり」さんは、「低い目標を大事にしながら、声なき声を国政に届け、力強く優しい国をつくっていく」と決意を表明した。

久慈市議会議員選挙「豊巻直子」、滝沢市議会議員選挙「日向ゆうこ」、雫石町議会議員選挙「坂下栄一」も見事当選を果たし、7月選挙では県職労推薦候補者全員の勝利が実現した。

参議院議員選挙では見事勝利を果たしたが、比例票数では前回参議院選挙を下回る厳しい状況にあり、8月の政治決戦である盛岡市議選「野中やすし」、県議選「野中やすし」、県議選「野中やすし」、県議選「野中やすし」は県庁・盛岡支部を中心に組合員はもとより、臨時・非常勤職員への丁寧なオルグを進め、県職労運動と連動した取り組みを展開している。県職労から働く者の代表を政治に送り出し、地方から政策を実現させよう。選挙まであと1ヵ月余り。全員の勝利のため、組合員の一層の奮闘を要請する。

## 一時金水準維持厳しいか!? 住居手当「改悪」を優先か!?

—公務員連絡会・7/25人事院交渉—

7月25日、公務員連絡会は19人勧闘争のヤマ場となる給与局長交渉を行った。

【賃金改善】民間の賃上げ率は小幅であるとし、較差がどうなるか注目しているとして引上げを明言しなかった。一方で一時金は支給月数(年

4・45月)維持が微妙な情勢であることをにじませた。交渉団から少なくとも一時金は据え置くべきとし、改善勧告を求めた。

【住居手当】見直し勧告を行うとし、その内容は基礎控除額(現行・12,000円)を引き上げるとした。引上げ幅は公務員宿舍の平均使用料が2万円であることを示したうえで、8,000円引き上げるかはその影響を含めて検討しているとし、改悪の姿勢を示す一方で、最高支給限度額(現行27,000円)の引上げには言及せず、極めて不満の残る結果だった。交渉団から基礎控除額引き上げは容認できない、合理性と納得性を前提とした見直しを示すべきと訴えた。

給与局長交渉では要求に即した回答とならず、断じて容認できない。総裁交渉前での再交渉の申し入れをした。8月第2週想定勧告に向けて全力を挙げる。



▲人事院勧告に向け公務員連絡会が中行動/人事院交渉

暑さに負けず、お仕事ががんばっていますか? そんな手紙を貰うと、ほっとする暑さが続く!先日、資材を納品している業者さんから「ケチなうちの会社でも冷房運転しているよ。県庁は何で運転しないのか。おかしいね」と声をかけられた。暑さを我慢するのも考えものだ!環境省のHPに熱中症予防情報サイトがあり、都道府県・地点ごとに最高気温だけでなく、WBGIT・暑さ指数にのり確な熱中症予防情報を提供する優れものだ。選択すると危険度が色分けで「危険」「嚴重警戒」「警戒」「注意」で表示される。危険度は、「日常生活」と「運動」に関する指針に分けられ、嚴重警戒の場合の注意事項として「外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する」と説明もあり分かりやすい!盛岡市の7月24日25日は、「嚴重警戒」の子報がある中、県庁は冷房運転が遅かった。職場では健康状態が様々な職員が働いているのに室内温度の調整はにぶい。庁舎管理は業務目標を「職員の健康と安全確保」と無ければ業務をしないのか?みんなを人思いやる職場に変えよう。

### 第五世代

暑さに負けず、お仕事ががんばっていますか? そんな手紙を貰うと、ほっとする暑さが続く!先日、資材を納品している業者さんから「ケチなうちの会社でも冷房運転しているよ。県庁は何で運転しないのか。おかしいね」と声をかけられた。暑さを我慢するのも考えものだ!環境省のHPに熱中症予防情報サイトがあり、都道府県・地点ごとに最高気温だけでなく、WBGIT・暑さ指数にのり確な熱中症予防情報を提供する優れものだ。選択すると危険度が色分けで「危険」「嚴重警戒」「警戒」「注意」で表示される。危険度は、「日常生活」と「運動」に関する指針に分けられ、嚴重警戒の場合の注意事項として「外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する」と説明もあり分かりやすい!盛岡市の7月24日25日は、「嚴重警戒」の子報がある中、県庁は冷房運転が遅かった。職場では健康状態が様々な職員が働いているのに室内温度の調整はにぶい。庁舎管理は業務目標を「職員の健康と安全確保」と無ければ業務をしないのか?みんなを人思いやる職場に変えよう。

# 処遇改善前提・協議尽くした制度設計を要請

## 「会計年度任用職員」課題・地公共闘が交渉

7月22日、岩手県地方公務員共闘会議（議長・佐藤淳一岩教組委員長）は、会計年度任用職員制度に係る知事・人事委員長あて要請決議・署名を佐藤人事課総括課長、人事委員会菊池事務局長に手交し、基本的事項に関する交渉を行った。

### 【人事課交渉概要】

賃金水準は、現在の処遇



▲佐藤人事課総括課長に要請書名を手渡す地公共闘佐藤議長(左)



▲「会計年度任用職員」制度問題で人事課総括課長交渉に臨む地公共闘四役

と期末手当を含めた制度移行後の処遇との比較では一定考慮する、専門職は人材確保の観点でも考慮しつつ、具体的な改善策を示さなかった。交渉団から今の水準では人材確保が困難であると、改善を求めた。病気休暇は国・他県との

均等を踏まえ無給とする姿勢を崩さなかった。交渉団から、不利益は容認できない、感染症等で休まざるを得ない場合の代替措置を講じるよう求めた。

### 【人事委員会交渉概要】

人事委員会規則は、7月末に完成見込みであること



▲人事課事務局長と「会計年度職員」制度問題で交渉する地公共闘四役(右側)

を明言したうえで、フルタイムは同種の職種の給料表の初号を基本として、資格や経験年数で加算（前歴換算）すること、加算方法は一般職員の例によることとした。パートタイムは、日数・時間で日額等を割り返したうえで、同様に資格や経験年数を加算、更新時の賃金水準は、更新前の任用期間を経験年数として加算すると

した。さらに、上限に関し、各給料表の1級の最高号給（行政職の場合は、1級93号（249,800円））とするとし、その範囲で各任命権者が業務内容に応じて上限を設定とした。上限によりがたい事情がある場合には、人事委員会と協議のうえ、賃金額を決定するとして、交渉団から、賃金水準確保と改善を強く求めた。

病気休暇は最大3ヵ月取得可能な病休を有給として認めるのは困難と主張したことから、感染症等の短期の休暇の対応を強く求めたところ、病休とは別に休暇制度の枠組みを更に検討する必要があるとした。交渉団から現場の声を含めて賢明な判断を行うよう求めた。

## 女性の視点から安心して働ける職場環境の実現を

### 「野中やすし」女性を取り巻く課題に全力挙げる

7月18日、県職労は県庁支部の女性組合員を対象として「女性組合員と語る会」を開催。17人の女性組合員が今の職場の働き方を語り合った。語る会には、盛岡市議会議員予定候補者「野中やすし」も参加。女性を取り巻く課題に全力を

挙げる決意を述べた。意見交換では、「7月9日に定時退庁の徹底が言われているが、そのために日中の仕事が濃密となり、定時退庁日以外にし寄せ

がくる。これでは職場環境の改善となっていない」「遠野農林振興センターから異動。県庁も忙しいが、出先機関は1人で複数の業務を抱えており、出先機関も慢

前回に引き続き「会計年度任用職員制度」についてです。県職労はこれまで「意見交換会」を開催し、組合員や非正規職員の声をお聞きしました。この意見交換会では、「職場に当局からの情報提供が

## 「国追随」の姿勢明かに

### 情報少なく困惑の声が多数

圧倒的に不足している。「パートタイムに切り替えられれば収入が減り生活が厳しくなる」。「パートタイムに切り替われば、その分の仕事は誰がするのか？」等々、不安や不満の声が多数出されています。県当局には「国のマニユ

### 野中やすし



野中やすしさん

アルがすべて」と言わなければならぬ姿勢が見え隠れしています。仮に、国のマニュアル通りに会計年度任用職員制度職員の労働条件を決めたにしても、それが今よりも魅力的なものとなってしまうたのでは応募者が不足する事態を招きかねません。

こうしたマニュアルを地方に押し付ける総務省の姿勢が「諸悪の根源」であることは間違いありません。私は、八月の盛岡市議会議員選挙に県職労のご推薦をいただき、初挑戦いたします。地方公共サービスの向上をめざし、自治体労働者の勤務労働条件を守るため、地方議会の場から皆さんの職場の実態を国にしっかりと訴えていく決意です。



▲県庁支部・女性組合員と語る会で意見を交わす野中さん(正面・左)

## 「秋の新組合員交流会」

県職労青年婦人部では、新規に加入された組合員との交流会を開催しますので、是非参加してください。



日時：2019年9月7日(土) 11:00~16:00

場所：都南つどいの森(盛岡市湯沢1-88)(盛岡駅と会場のバス送迎付き)

内容：ミニ講演と交流会「バーベキュー」

対象：新規加入組合員のみなさん  
青年婦人部組合員のみなさん  
新規組合員の先輩組合員のみなさん  
新採用職員のみなさん

申込先：各支部書記局 締切：8月7日水

## 活動方針など賛成多数で決める

### 北上支部・定期大会開催

性的に人員不足。解消が必要」「文化スポーツ部だが、スペシャリストの業務を担わされている。個人で完結しないといけない業務が当たり前となっている」といった職場実態も報告された。意見交換では、女性が安心して働き続けられる職場環境でない実態が改めて浮

き彫りとなった。「野中やすし」はこうした意見交換を丁寧に行き意見を聞き合うことが改善につながる」とし、意見を踏まえた取り組みを進めると訴えた。県職労はこのような意見交換の場を設け、女性も男性もともに安心して働ける職場環境づくりに全力を挙げる。



▲北上支部定期大会の様子

北上支部(佐藤洋支部長・農村整備分会)は10日、支部定期大会を開催し、県南4支部で取り組んでいる「4支部合同要求・交渉」への積極的な参画をはじめとする支部方針を確認した。また、臨時・非常勤職員を多く抱える農研センター分会の代議員からは、会計年度任用職員の処遇や任用

**保障のことならまず組合へ**

組合員と家族の安心をバックアップ。生命・医療保障、退職後の保障から住宅や自動車の損害まで、生活全般の保障を用意しています。

自治労共済本部  
詳しくは所属する組合まで

